



想定浸水深の目印を付けた電柱を確認する下々条町内会

地域を守る活動を後押し

防災資機材の購入やアドバイザーの派遣など、自主防災会が行う防災活動を支援しています。家族や地域を守るため、制度を利用し地域の防災力を強化しませんか。▶支援メニューはこちら



独自に作成した防災マップを袋詰めする地域まちづくり推進部委員（千手地区）

マップ作りで高まる防災力

アドバイザー派遣事業を利用し、令和5年12月に地区独自の防災マップを作りました。まち歩きで集めた情報をもとに、マップに書き込む内容を繰り返し議論。過去の浸水箇所などを知ることができ、多くの気づきを得ました。今後も家族や近所で話し合いを続けて、町内全体の防災力を高めていきたいです。



▶千手コミュニティ推進委員会・地域まちづくり推進部長の広川俊行さん



基礎知識から丁寧に教えてくれます！

防災のスキルを家庭や地域で役立てよう 「中越市民防災安全大学」受講生を募集

NPO法人日本防災士機構が認定する「防災士」の受験資格を取得できます。自主防災会の代表として受講すると費用が実質無料になる支援制度や一時保育もあります。

8月24日(土)・25日(日)・31日(土)、9月1日(日)・7(土)・8(日)午前9時～午後5時(計6回) 場消防本部など 講防災専門家など 対高校生以上 定60人(先着) ¥10,000円(学生5,000円) 申7月1日(月)～31日(水)に中越防災安全推進機構 ☎39・5525へ

▲防災士の天野優香さん

市町村研究会

能登半島地震を踏まえた検証を 柏崎刈羽原発の安全対策を要望

燃料装荷の検査や屋内退避の運用に関する検討チームの状況を説明した原子力規制庁には、被ばく線量評価のシミュレーション内容などに関し

がありました。

燃料装荷の検査や屋内退避の運用に関する検討チームの状況を説明した原子力規制庁には、被ばく線量評価のシミュレーション内容などに関し

住民の不安解消に向け丁寧な説明を

県内全30市町村からなる「市町村による原子力安全対策に関する研究会」は5月10日、実務担当者会議を開催しました。代表幹事の磯田市長は「能登半島地震以降、複合災害時の屋内退避に対する住民の不安が高まっている。議論の中で住民の声を届けていきたい」とあいさつ。各市町村の担当者からは、国や県、東京電力へ多くの意見や要望が出されました。



▲市町村、国、県、東京電力の担当者など約70人を前にあいさつする磯田市長

でも丁寧な説明をするよう求めました。

県に対しては、能登半島地震により住民の不安が高まっていることから、新たに設置する有識者会議での十分な検討と広域避難計画への反映を要望しました。

今後も市民の安全・安心のため、原子力安全対策にしっかりと取り組みます。

原子力安全対策室 ☎39・2305

最新情報は市ホームページへ



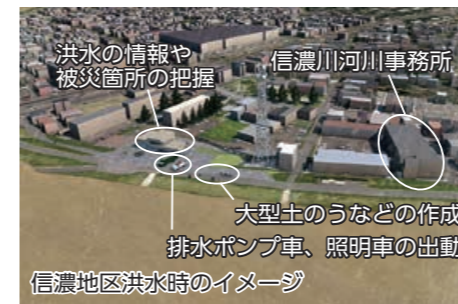
水害に強いまちへ

市は関連機関や団体と連携し、市民の命を守るまちづくりや、もしものときに備える取り組みを進めています。

ハード対策 新施設を整備し、防災力を強化

6/9 一部開所 河川防災ステーション

信濃川河川事務所と市が連携し、信濃・左近町地区の2カ所に「長岡地区河川防災ステーション」の整備を進めています。洪水時などに応急対応するための車両や資材を配備。6月9日には、被災箇所の把握や情報収集などを行う水防センター（信濃2）が開所します。



洪水の情報や被災箇所の把握 信濃川河川事務所 大型土のうなどの作成 排水ポンプ車、照明車の出動 信濃地区洪水時のイメージ



水防センター

8月中旬稼働開始 安定した内水排除が可能に 寿町排水ポンプ場

市内最大の排水能力を持ち、25mプールの水を40秒で排出できるポンプ場が寿3丁目に完成します。豪雨時は栖吉川の水位上昇でたまった下水道管の雨水を信濃川に排出し、寿・蔵王地区の浸水被害を軽減します。



排水ポンプ



施設の外観

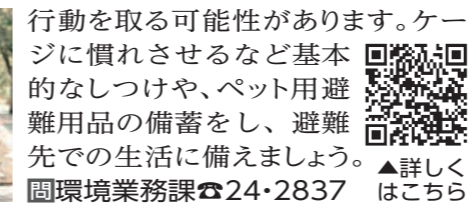
令和7年度までに順次作成 個別避難計画

災害時に一人での避難が難しい人の個別避難計画の作成を進めています。対象者には6月以降に案内を順次送付します。

対次のいずれかに該当する信濃川浸水想定区域に住む人①介護保険の認定が要介護3～5 ②身体障害者手帳（1・2級）、療育手帳Aまたは精神障害者保健福祉手帳を所持 図福祉総務課 ☎39・2217

日ごろの備えがペットを守る

突然の災害でパニックになり、いつもと違う行動を取る可能性があります。ケージに慣れさせるなど基本的なしつけや、ペット用避難用品の備蓄をし、避難先での生活に備えましょう。▲詳しく 図環境業務課 ☎24・2837



「いつもと違う」は土砂災害の可能性も

①長雨や大雨のとき②川の水、井戸水、湧き水の量が変化したり濁りだしたりしたとき③土地に亀裂が生じたときは、土砂災害の危険が迫っています。いつでも避難できるように準備してください。

図河川港湾課、県長岡地域振興局治水課 ☎38・2629

※対・申などの略字の見方は13ページへ

救急搬送の時間を短縮！ぜひ登録を フェニックスネット

かかりつけ医や緊急連絡先、アレルギーなどの情報をあらかじめ登録。緊急時に救急隊員が確認し、素早い処置につなげます。

甲アオーレ長岡福祉窓口、長寿はつらつ課（さいわいプラザ内）、各支所地域振興・市民生活課（栃尾支所は市民生活課）などにある申込書で 図長寿はつらつ課 ☎39・2268、▲電子申請 消防本部警防課 ☎35・2169



▲電子申請はこちら



イメージ

水害時に消毒薬を配布します

感染症防止のため、被害を受けた住宅に町内会を通じて消毒薬を配布します。消毒薬＝逆性石鹼液（600ml） 用途＝床や家具など屋内用 図保健医療課 ☎39・2383

大切な家族を守る備え ソフト対策